

# FAST RETAILING x UNHCR グローバルパートナーシップ

## 持続可能な開発目標(SDGs)達成につながる難民支援

2011年のグローバルパートナーシップ締結以降、UNHCRとファーストリテイリング/柳井正氏は様々な難民支援を実施しています。

**9 INDUSTRY INNOVATION AND INFRASTRUCTURE**  
コース・マーケティングを通じて、2016年と2018年に15万米ドル(ユニクロの特定商品の売上の1%)がUNHCRの自立生計支援プログラムに寄付されました。

**4 QUALITY EDUCATION** **12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION**  
2013年より、日本全国の1,447校の学校にて16万以上の子どもたちがFR従業員から難民問題について学びました(“届けよう、服のチカラ”プロジェクト)。

同時に、FRは従業員への難民問題への意識向上に努めています。

2010年より、累計119のユニクロ店舗において、難民支援への参加を呼びかけるFace to Faceキャンペーンが実施されています。

**4 QUALITY EDUCATION** **9 INDUSTRY INNOVATION AND INFRASTRUCTURE**  
2017年より、日本人を含む計3名のFR従業員がUNHCRのフィールドオフィスに派遣されました。2018年秋には、さらに2名の派遣(インド、マレーシア)が予定されています。



**1 NO POVERTY** **4 QUALITY EDUCATION** **5 GENDER EQUALITY** **8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH**  
2016年から3年に渡る550万米ドルの資金援助により、アジア5カ国(インド、イラン、マレーシア、ネパール、パキスタン)で、13,187人の難民が職業・生計に必要なスキルを習得したり、資金援助を受けたりしながらビジネスを立ち上げたりしています。

**12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION**  
2007年より、47カ国のUNHCR活動拠点に2,600万点以上のユニクロ・ジーユー衣料品が届けられています。

2018年には、530万点以上の衣服が14のUNHCR支援国で配布されました。

2007年から始まったFR従業員の難民キャンプへのフィールド視察は20回を超えました。

**1 NO POVERTY** **4 QUALITY EDUCATION**  
FRと柳井氏個人で3年間で計300万米ドルが緊急支援に寄付されています(2016年は南スーダン、2017年、2018年はバングラデシュ)。

3年間で計150万米ドルが衣料配布補助の支援にあてられています。

日本(2005年～)、韓国の難民映画祭へ協賛しています。

**8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH**  
難民雇用を促進するRISE (Refugee Inclusion Supporting Empowerment) プログラムにより、世界で計82名の難民(日本55名、英国1名、ドイツ12名、オランダ2名、フランス2名、米国10名)がユニクロ店舗で雇用されています。(2018年10月時点)。

自立支援の一環として、193名の難民女性がユニクロでノベルティとして配布されたハンドメイドのチャーム制作を行いました。